

越前町議会・令和4年12月定例会一般質問【伊部良美議員】

(令和4年12月7日 午前10時17分 開始)

○11番(伊部良美君) 議長のお許しをいただきましたので、通告書に基づいて質問をいたしたいと思っております。

質問に先立ちますが、まず、私たちの生活に、ここ近年、苦しみ亡くなられた方、今後も不安を抱きながら生活が続く中、今回、塩野義製薬会社の生みの親、立花裕樹部長の手によって、国産初の新薬コロナ治療薬ゾコーバが開発され、まさに日本国民が待ちに待ったゾコーバかと感謝の念を申し上げますとともに、期待をいたしたいと思っております。

普通、通常、臨床試験には、早くて9年から16年の年数の時間を要すると聞いておりますが、今回は、塩野義製薬の立花部長をはじめといたしまして、研究員の方々の日夜を問わずして涙ぐましい研究の下で努力された結果、それでも昼夜を問わず研究を重ね、2年9か月の経過の研究を要したと言われております。スピードを上げられたことに対して、通常の人件費等の7割、8割を費やし、努力の成果を見ることができたことに感謝を申し上げたいと思っております。

今後、コロナの症状が出た人でも、7、8日かかる人でも、1日で服用効果が表れ、回復されるとの明るい情報も得られています。今後は、我々の手元に早く届き、コロナのゼロ運動の足がかりになればと思ひ、期待を寄せたいと思っております。

それでは、本題の質問をさせていただきます。

1点目に、新幹線金沢―敦賀間の開業に伴う新駅舎周辺整備のモニユメントの設置について伺いたいと思ひます。

北陸新幹線への金沢―敦賀間の開業に向かって、新駅の宿舎もあちこちと建設も出来上がり、本町に特に利用されようとする福井駅や越前たけふ駅はほぼ完成され、令和6年春の開業を待つかのように進められています。

特に越前たけふ駅は、コウノトリをイメージした駅舎にかたちどられ、空にはばたく威容なものに感じられ、丹南地区の経済や文化に大きく寄与され、今後の発展に大きく貢献されるものかと思ひます。

福井駅には恐竜のモニユメントが堂々としてありますが、越前たけふ駅周辺にも越前がにや越前水仙の、県産のかに、県花の水仙のモニユメントの設置を考えてもらえないかとお伺いをいたします。

2点目になりますが、全国豊かな海づくり大会の開催誘致についてお伺いをいたします。

先般、令和4年11月12日、11月13日の2日間の両日にかけて、第41回全国豊かな海づくり大会が兵庫県明石市で盛大に行われました。もちろん、町長自身もテレビ等で見られたものかと思ひますが、本町においても同じくして、今年初めての越前がにの朝市まつりが実行委員会の下で行われ、例年どおりコロナ対策を取りながら、朝市まつりに県内外から大勢のお客でごった返し状態で、大変なにぎわいでありました。

初日の12日は、天気にも恵まれ、アクティブランドを利用されましたが、車の動くことによって砂ぼこりが巻き上がり、宙に舞う感じで、駐車場にされていたお客さんには、大変なご迷惑や苦情があったように伺っております。

13日は小雨であったのですが、時間がたつにつれ、車の出入りによってぐしゃぐしゃになって、利用された方は大変な思いをされたことかと思っております。

19日、20日の2回目の朝市まつりには、雨の予想もあり、事前に前もって使用禁止され、車旅行からシャトルバスの運行に変え、乗り切ったように伺っています。

青柳町長になられて、若さと決断力で、今後、関係者の方と協議・検討されることをお願いいたします。

私は豊かな海づくり大会について、今後の海の在り方、世界の人々が難民状態で生活苦にさらされていたり、様々な観点から見直されるものかと考えております。今回、本町の定置網の潮の海流による被害についても、長年漁師をされているが、今までの経験からすれば想像を絶するものであり、今後の海に対する予想することの不安感を抱くものかと思っております。

本町の越前がにを誇る漁場を死守するためにも、ぜひ町長、福井県水産課と本町の漁業の発展など考え、5、6年先になることかと思っておりますが、豊かな海づくり大会を誘致し、今後の若者の漁業の担い手の育成のためにも、越前町漁業組合や水産業者の協力を賜り、本町で豊かな海づくり大会が当地で開催されるよう働きかける考えにならないか伺いたいと思います。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

町長（青柳良彦君） 登壇

○町長（青柳良彦君） それでは、伊部議員の質問にお答えいたします。

令和6年3月の北陸新幹線金沢―敦賀間の開業まで1年半を切り、県内各地では、駅舎や線路などの工事が急ピッチで進められています。県内の各駅は、10月までに3駅が駅舎の建築工事を終え、駅の周辺も地元自治体において整備が進められ、越前武生駅の周辺整備も本年度末に工事を終えると伺っています。

今回、越前武生駅へのモニュメント設置とのご提案ですが、越前がにや越前水仙は、県の魚・県の花として、これまでに福井県や関係市町・関係団体などによって、県外に広くPRされてまいりました。中でも越前がには、福井県の水産ブランドとして知られ、福井といえば越前がにと言われるほど、全国的にも高い知名度を誇っています。

一方、本町の海岸線には、既に越前がにや水仙の里のモニュメントが幾つも設置されており、本町を訪れた方に対し、越前がに、越前水仙の本場である越前町を強くPRしているものと考えます。

このため、越前たけふ駅に限らず、越前がにや越前水仙の新たなモニュメントの設置は、現時点では必要ないものと考えますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

次に、全国豊かな海づくり大会の開催誘致についてのご質問ですが、この大会は、天皇・皇后両陛下をお迎えし、県が主体となって執り行われる全国植樹祭、国民体育大会、国民文化祭と並ぶ4大行幸啓の一つです。

昭和56年の大分県での第1回大会から今年の兵庫県まで、これまで41回開催され、今後、令和9年までは開催県が内定していると伺っています。

福井県では、昭和61年に小浜市を会場に、当時の皇太子殿下・皇太子妃殿下にご臨席を賜り、盛大に開催されたと聞いております。本県で開催となれば、環境への意識啓発のほか、福井県をはじめ開催地となる市町における様々な水産振興の取組を全国にPRできる素晴らしい機会と思っております。

一方で、近年の開催県にお伺いしますと、開催規模によりますが、4億円から6

億円の経費を要し、開催地となる市町もその1割程度を負担しているとのことですが。そのほかにも、開催に必要な環境の整備、例えば議員ご指摘の駐車場整備などの費用も、開催地の市町が負担することとなる模様です。

取組内容は様々ですが、1年前にはプレ大会の開催や100日前の記念イベントを企画するなど、開催年の3年前には本格的な準備を始めることとなり、主催する県へ職員を派遣したところもあるように聞いております。

このような中、今年9月の福井県議会定例会の一般質問において、杉本知事は、今後開催をする市や町と協議を進めながら、開催の時期や費用負担などのご理解もいただきつつ、本県への誘致を進めていきたいと、開催に向けて前向きな考えを示されました。また、敦賀市選挙区選出の力野議員におかれましては、敦賀市での開催を本会議でお願いしたと認識しています。

開催地となる市町について、福井県によりますと、現時点では未定とのことですが、本町への誘致につきましては、開催地の経済効果と、先ほど述べました経費や人員面での負担を考慮しますと、本町の現状では非常に難しいものと考えますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（笠原秀樹君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） ただいま町長の答弁にありました、本当にまた誠意を持って、今後対応していただきたいと言います。

再質問になりますが、福井駅については、福井市土地戦略部副理事新幹線整備課長事務取扱の方や、福井市都市戦略部新幹線整備課主幹の方や副主幹の皆さん方とご理解もいただいております。ぜひ町として福井市のほうへ積極的にアプローチしていただき、越前がにモニュメントやポスターなどの誘客に対しての効果を生み出す政策を目指すよう、協力をお願いする考えにならないか伺いたいと思います。

越前たけふ駅については、越前市産業観光部観光誘客課副課長に駅周辺の整備について、私のほうからも越前がに、越前水仙のモニュメントなどについて要請などお伺いしましたところ、賛同賜り、県のブランド課の方へ要望されるとよろしいかと積極的にアドバイスのご意見をいただきまして、福井県交流文化部ブランド課の課長補佐とお会いをいたしまして、町としてのお考えがございましたら前向きに検討させていただくという、ありがたいお言葉をいただいております。

ぜひ町として、駅周辺の玄関口に越前がにの本場であるかに、水仙をいつまでも愛していただく印象を与える意味からも、町長に考えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

2点目の、この5、6年の間に本県にも新幹線も開業され、本県の漁業関係についても、本県の漁連を中心にされていた組織再編なども考えられているようで、嶺北の町は我が本町に集結されるようにも伺っております。

本町の漁業組合においても、念願でありましたドック場の建設も、県の協力を賜り完成することができました。今後は、漁連と本町の漁業組合がタイアップされ、嶺北の町の結集されたハサップの建設が計画もされて、早期の実現を目指されているように伺っております。

ぜひ町長、こういった課題も完成され、豊かな海づくり大会の開催を県が協力して実現していただくように伺いますが、いかがなものかお伺いをいたします。

○議長（笠原秀樹君） 町長。

○町長（青柳良彦君） 初めに、福井駅周辺へのモニュメントの設置ですが、福井市にお伺いしたところ、福井駅周辺は、恐竜王国・福井の世界観を統一するため、恐竜

に関するもの以外は常設しない方針を県や商工会議所と協議の上、決定しているとのことです。

また、新幹線福井駅駅舎東口に隣接して、現在福井市が整備している福井市観光交流センターも同様に、恐竜関連以外は設置しないとのことです。

なお、ポスターなど誘客に向けた広報物は、この福井市観光交流センターに設ける貸しスペースを活用できると伺いましたので、施設オープン後の運用方法を見極めた上で検討してまいります。

次に、越前たけふ駅周辺に関しまして、越前市にお伺いしたところ、越前市としては、かのにのモニュメント設置とのアイデアには賛同するが、費用の負担までは考えていないとのことです。県においても、県内市町の観光資源や特産品を用いたモニュメント設置について、特段の方向性や施策は、現時点において持っていないとのことでした。

また、県への設置要望であれば、関係市町と協議をまとめた上で提出していただきたいとのことです。

町といたしましては、これまでのPR効果もあり、本町を訪れる方は出発前から目的を持って来られる方が大勢を占めており、駅に降り立って、モニュメントをきっかけに本町へ来られることは少ないと考えます。

また、県による設置となりますと、関係市町の費用負担なども考えられます。このため、費用対効果を考慮いたしますと、本町への誘客効果は低いと思われ、関係機関へのモニュメント設置の要望は見送りたいと考えますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、本町での全国海づくり大会の開催についてお答えいたします。

福井県並びに福井県漁業協同組合連合会において、組織の再編、産地・市場の統合・再編を計画されていることは伺っております。また、越前町漁業協同組合における漁船の浄化施設並びに高度衛生管理などの市場施設の整備は、合併前からの念願であり、浄化施設は本年度に完成し、高度衛生管理型の市場施設は、令和8年度頃の着工を目指し、関係機関と協議を進めていると聞いております。

今後、予定どおりに整備が進めば、全国豊かな海づくり大会を誘致する一因になるとは考えますが、大会経費の負担に充てられる有効な財源も見当たらない中、本町をメイン会場としての誘致は見送らざるを得ないと考えます。

なお、他市町での開催となった場合、県からの要請には協力してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（笠原秀樹君） 伊部良美君。

○11番（伊部良美君） ありがとうございます。

それでは、最後になりますが、越前市では駅周辺の土地に研究開発施設の誘致を考えられ、駅近くの農地約18ヘクタールの土地を念頭に協議され、進められているように伺っております。そうした誘致に対し、来年1月を目標時期として、土地取得のために地権者の同意が得られるように取り組んでいただけることもお聞きしております。

町長、この施設にも、本町の地場産業や観光施設等にも協力を要請するようにお願いをいたしたいと思っております。

一方、越前ガニ等のモニュメントに対し、何か消極的な答弁であります。駅に降りました方が駅に着いたところ、やったというモニュメントのかにを見てワクワク感を抱き、早く食べたいと思う気持ちに駆られると思っておりますが、そういう気

持ちを大事にしたいと思いますが、検討していただくようお願いを申し上げます。

次に、町長の答弁にもありましたが、本県で豊かな海づくり大会が開催されるようになれば、本町としても協力をしたいとの考えに対し、敬意を表すものでございます。今後、誘致に関して、県の水産課を中心にして、本町の漁業関係者と手を携えながら検討されていただき、本町に誘致の開催地が話題にでもなれば、町長、ぜひ受けて賜りたいと思っております。

負担金の1割についても、本町をはじめ、本県の漁業関係者の協力を賜れば、問題ないものかと考えてもおります。今後の越前町の水産業の発展の経済効果は、目をみはるものがあるかと考えられますので、町長の勇断に期待をいたしたいと思っております。

これで私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(午前10時40分終了)